

合成繊維網状管 ペーブドレーン

道路舗装体の排水装置

道路の高規格化と走行安全・環境に対応した、新時代の道路舗装体排水装置。「ペーブドレーン」

ペーブドレーンは環境にやさしいPETボトルリサイクル製品です。

ペーブドレーン製品の概要

ペーブドレーン(合成繊維網状管)は、道路と橋面の舗装体に浸透した雨水が、基層上面や床版防水層の上に滞留して舗装材料の劣化を促進するのを防止するために浸透水の流路を設けて滞留を防ぎます。

ペーブドレーンの特性

1. 耐熱性、耐圧変形性に優れています。
2. 耐候性に優れています。
3. 毒性はありません。
4. バクテリア、細菌に対して抵抗力があり、水に対して安定しています。
5. 酸、アルカリに対して安定しています。

ペーブドレーンの特徴

折り曲げが自在で、曲線面にも容易に対応。目詰まりしにくい構造です。

再生ポリエステル合成繊維(高分子系)なので軽量です。目詰まりしにくい構造、耐圧変形性に優れているのは、「縦糸の存在」が決め手です。

製品名	呼び径		製品の長さ	主な用途
	内径	外径		
ペーブドレーン 10mm	10mm	14mm	15m	橋梁床版上舗装横断面部
ペーブドレーン 15mm	15mm	20mm	15m	橋梁床版上排水性舗装
ペーブドレーン 20mm	20mm	25mm	15m	排水性舗装
ペーブドレーン 30mm	30mm	35mm	15m	排水性舗装

(注意) ペーブドレーン挿入用の既設楕孔明工は、外径の+5mm以上としてください。

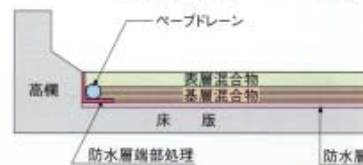
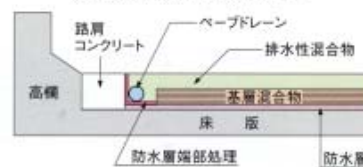
径 20mm、30mm を交差点および車両横断面部に設置する場合は、弊社にご相談ください。

舗装のかぶり厚は、充分確保してください。

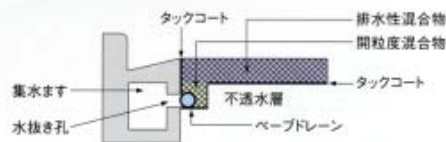
■橋梁上の設置箇所



※伸縮継手構造は外側埋までとする
※中間排水孔は設計要領に基づき設置する



■排水性舗装の設置箇所



■舗装後のペーブドレーン内部



設置要領

橋面部に設置の場合

1. 橋梁部の防水層上に設置します。
2. 地覆と床版の入隅部に這わせるように置き、ペーブドレールテープで1m程度の間隔で止めてください。
3. ペーブドレール相互の継手は、同封しているソケットを使用して、両サイドよりストッパー(針金)で固定してください。もしくは、突き付けとし、ペーブドレールテープで巻いてください。
4. 排水柵部は横の水抜き穴に10cm程度ペーブドレールを差し込んでください。



排水性舗装設置の場合

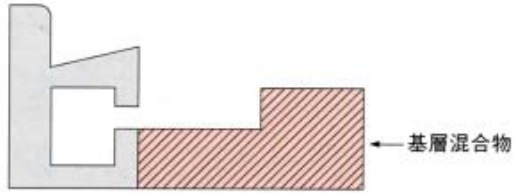
1. 基層上に乳剤散布後に地覆に這わせるように置き、1m程度でコンクリート釘又はペーブドレールテープで止めてください。ペーブドレール 10mm、15mmは38mmのコンクリート釘を使用し、20mm、30mmは50mmのコンクリート釘をご使用ください。
2. ペーブドレール相互の継手は、同封しているソケットを使用して、両サイドよりストッパー(針金)で固定してください。もしくは、突き付けとし、ペーブドレールテープで巻いてください。
3. 横断に設置する場合は、基層に溝切りし、10mmを溝中に設置します。



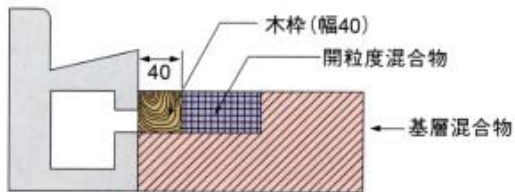
ペーブドレーン設置方法

例1 ペーブドレーン $\phi 30\text{mm}$ を設置する場合
排水性混合物で、縦断的に排水溝を設ける場合

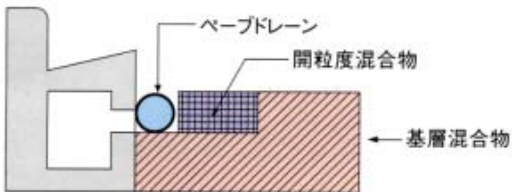
①溝を設ける



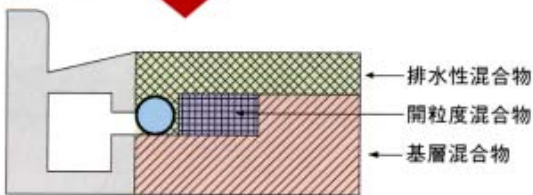
②溝に開粒度混合物



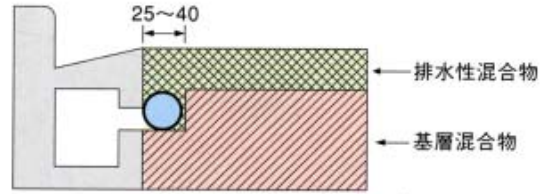
③木枠撤去後ペーブドレーン設置



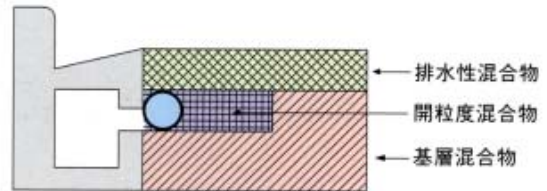
④表層舗設



例2 ペーブドレーン $\phi 20\text{mm} \sim \phi 30\text{mm}$ を設置する場合



例3 ペーブドレーン $\phi 10\text{mm} \sim \phi 15\text{mm}$ を設置する場合



例4 ペーブドレーンを横断方向に設置する場合

基層(合材)に溝を設けてペーブドレーンを設置してください。

